

A. 卒業生採用に関するアンケート調査結果（令和元年度実施）

I. 調査時期，対象施設，回収結果

調査時期：令和元年12月～令和2年1月

調査対象施設：平成30年度～令和元年度に採用された施設

看護科：88施設 118部署（うち川崎学園内2施設 32部署）

医療介護福祉科：12施設

回収結果

看護科：回収数 33施設 55部署 回収率（部署単位） 46.6%

医療介護福祉科：回収数 7施設 回収率 58.3%

II. アンケート結果および分析

1 アンケート回答施設基本事項

1) 地方・都府県別

地方	都府県	看護科		医療介護福祉科	
		地方別	都府県別	地方別	都府県別
関東地方	千葉県	2	1	1	
	東京都		1		1
近畿地方	京都府	10	1		
	大阪府		4		
	兵庫県		5		
中国地方	岡山県	39	34	5	4
	広島県		5		1
四国地方	香川県	3	1	1	1
	愛媛県		2		
九州地方	大分県	1	1		

2 調査項目

A 採用について

1) 組織で職務遂行上，重視する能力

それぞれの項目について，5段階（5：重視している，4：やや重視している，3：どちらともいえない，2：あまり重視していない，1：重視していない）の中から当てはまる数字を選択。平均値を示した。

	項目	看護科	医療介護福祉科
①	主体性	4.4	4.6
②	他人に働きかける力	4.1	4.0
③	実行力	4.3	4.6
④	課題発見力	4.2	4.1
⑤	計画力	4.0	4.1
⑥	創造力	3.9	4.3
⑦	発信力	3.9	4.0
⑧	傾聴力	4.4	4.6
⑨	柔軟性	4.1	4.3
⑩	状況把握力	4.4	4.6
⑪	規律性	4.5	4.7
⑫	ストレスコントロール力	4.5	3.9

その他重視している事項（自由記述）

看護科：学ぶ姿勢，素直さ，社会人基礎力，患者に寄り添う力，コミュニケーション能力，親からの自立
医療介護福祉科：チームワーク力

2) 採用時に重視する能力

それぞれの項目について，5段階（5：重視している，4：やや重視している，3：どちらともいえない，2：あまり重視していない，1：重視していない）の中から当てはまる数字を選択。平均値を示した。

	項目	看護科	医療介護福祉科
①	基礎学力	4.0	3.9

②	専門知識・技術	3.7	4.0
③	職務遂行能力	4.3	4.4
④	倫理観	4.4	4.4
⑤	社会性	4.6	4.9
⑥	コミュニケーション能力	4.7	4.6
⑦	対人関係・仕事の協調性	4.5	5.0
⑧	基本的マナー	4.7	4.7
⑨	課題解決能力	4.1	3.6

その他重視している事項（自由記述）

看護科：目的・目標を持てること

3) 面接時に注意してみる態度

当てはまるものを全て選ぶ質問。両学科とも、学科ごとの総回答数（回収数から未回答数を引いたもの）に対する％で示した。

	項 目	看護科	医療介護福祉科
a	入退出時の挨拶	65 %	71 %
b	服装・身なり・髪型	90 %	86 %
c	顔の表情	78 %	71 %
d	話し方・言葉遣い	93 %	100 %
e	声の大きさやトーン	60 %	71 %
f	話を聞くときの姿勢	73 %	57 %
g	話しているときの姿勢	70 %	43 %
h	目線の方向や動き	73 %	43 %

総回答数

看護科：回収数 55，未回答 15，総回答数 40

医療介護福祉科：回収数 7，未回答なし，総回答数 7

その他

回答なし

「本学に対する意見・希望（看護科）」のなかに「面接内容に関することは一切お答えできない」とあった。

B 採用した本学の卒業生について

1) 本学卒業生の印象

それぞれの項目について、5段階（5：優れている，4：やや優れている，3：普通，2：やや劣る，1：劣る）の中から当てはまる数字を選択する質問。平均値を示した。

	項 目	看護科	医療介護福祉科
①	基礎学力	3.0	3.3
②	専門知識・技術	2.8	3.0
③	職務遂行能力（意欲，段取り力，実行力）	3.0	3.2
④	倫理観	3.2	3.5
⑤	社会性（公共心，誠実性，責任感）	3.2	3.3
⑥	コミュニケーション能力	3.1	3.7
⑦	対人関係・仕事の協調性	3.3	3.7
⑧	基本的マナー	3.3	3.3
⑨	課題解決能力	2.9	2.8
⑩	注意や指導を受けた後の対応力	3.0	3.0

その他の印象（自由記述；看護科）

- ・患者さんに対する言葉遣いが丁寧。
- ・体調不良で休む時ラインで連絡してきたので，電話で連絡をするように伝えたことがあるが，すぐくまじめに取り組んでいる。
- ・優れている卒業生もいるが，全体的に評価すると3～2。
- ・主体性にやや欠ける，コミュニケーションが苦手。業務の段取りは今一つ。しかし素直で，意欲はある。
- ・自信を持って取り組んでいるが，少しの注意や指導を受けたことが受け入れられず，落ち込むことがあった。今は乗り越え前向きに取り組もうと努力している。もう少し見守りたい。
- ・個人差がかなりある。

2) 本学卒業生の傾向

①他校出身者と比較して優れている部分（自由記述；カッコ内は件数）

看護科 (26) : 礼儀正しい, 地元への貢献意欲が高い, 業務内容の覚えが早い, 素直 (6), まじめ (3), 意欲的 (2), カリキュラムと取り組む力が優れる, 誠実, 理解が早く応用力がある (2), 目的・目標が明確, 学ぶ姿勢, 臨床経験を次に生かすことができる, 積極的に学習している (2), コミュニケーション能力や協調性がある (2), 前向きで明るい (2), 団結力, 温厚, 輪にとけ込む力, 動きのよさ, 友人が多くストレス解消はし易い, 忍耐力, 優しい, 社会性, 倫理的, 個人または年代にもよる。
医療介護福祉科 (4) : コミュニケーション能力, 順応性, 仕事に前向き, 一定以上の安心感, 報連相ができる。出身校よりは個人による

②他校出身者と比較して劣っている部分（自由記述；カッコ内は件数）

看護科 (18) : 積極性に欠ける (3), 看護師資格を取ることや就職することがゴールになっているケースが多い, 就職後のキャリアプランが築けていない, モチベーション低い, 文章力 (3), 看護サマリーのまとめに時間を要する, 時間のとらえ方の違い, コミュニケーション能力・適応力・順応性の低下, 対人関係・発信力, 社会人としての基本, 学修意欲 (3), 実践能力, 学修の深め方, 応用力, カンファレンスの進め方 (アセスメントやディスカッション), 全体的に研究をやりたがらない傾向, 注意された時の態度, 根拠に基づく看護が苦手, 謙虚さ (人により違う), 問題解決能力, 分析力, 大学と比較して知識面と学習に対する姿勢, 個人にもよる。
医療介護福祉科 (1) : 出身校というよりは個人による

③過去の卒業生と比較して変わったと感じる部分（自由記述）

看護科 (15) : 社会人としてのマナーの欠如, メモを取らない, 積極性などは個人の特性による, コミュニケーション能力に困難を感じる, 相手の立場に立てない, 相手の気持ちをくみ取ることが難しい, 看護師という職業に対する思い入れが軽い, 積極性 (声をかけなければ進まないことも多い), 食欲さが弱くなっている, 相談ができず自己判断, 同期同士の協力度が学年により異なる, 与えられたことや指示されたこと以外の気づきが少ない, 指導や注意を怒られたととらえる, 先輩を非難する発言, 周囲への気配りや気付く力が弱い (気付いても行動や言語化をしないのか?), プライバシーの配慮が不足, 学習能力の低下, インシデント後の態度や対応, 職務遂行能力や協調性がやや劣る (他校も同じ), 基本的なマナーやコミュニケーション能力の低下, ストレス耐性の低下, やる気
医療介護福祉科 : 記載なし

3) 本学卒業生を採用したことの総合的満足度

5段階 (5 : 満足, 4 : やや満足, 3 : どちらとも言えない, 2 : やや不満 : 1 : 不満) の中から当てはまる数字を選択する質問。平均値を示した。

	看護科	医療介護福祉科
本学卒業生を採用したことに対する総合的満足度	4.0	4.5

4) 本学学生に充実を求める能力（上位3項目の選択）

学科ごとの総回答数（回収数から未回答数を引いたもの）に対する%で示した。

	項 目	看護科	医療介護福祉科
a	基本的マナー	55 %	86 %
b	コミュニケーション力	72 %	100 %
c	対人関係調整力	55 %	71 %
d	幅広い教養と基礎学力	26 %	0 %
e	深い専門的知識・技能	6 %	14 %
f	文章読解・表現能力	17 %	14 %
g	リーダーシップ	9 %	0 %
h	課題解決能力	40 %	0 %
i	プレゼンテーション能力	8 %	0 %
j	マネジメント能力	8 %	14 %

k	コンピュータ活用能力	0 %	0 %
l	指導能力	2 %	0 %
m	外国語の能力	0 %	0 %
n	国際的視野	0 %	0 %

総回答数

看護科：回収数 55，未回答 2，総回答数 53

医療介護福祉科：回収数 7，未回答なし，総回答数 7

その他充実が必要な事柄（自由記述；カッコ内は件数）

看護科 (8)	<ul style="list-style-type: none"> ・素直さ (2) ・社会人基礎力 (2) ・社会人になる心構えやシフト勤務への理解 ・医療人としてなりたい自分というものを自覚した人が就職してほしい。 ・社会人としての基本的な姿勢を備える必要がある（入職後の教育の前に少し）。人として人を大切に思える人間性 ・報告，相談，連絡がすみやかに行えること
医療介護福祉科 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政監査要件（こういった要項で医療介護できるのか？）

6) 本学に対する意見，希望（概要）

看護科：	<ul style="list-style-type: none"> ・就職先の配属希望（急性期病棟や大学病院）を個人の特性・能力から学校側も検討しても良いと感じる。 ・社会人基礎力を身につけてほしいと思う。 ・地元出身の方が地元で就職してくれることは理想的。地域医療を希望する学生の紹介を。 ・貴学の問題ではなく本人個人の問題が大きい。 ・とても優秀な人材を育成して送り出して頂いて有難い。 ・相手への配慮を考えることのできる社会人基礎力は必要だと思う。 ・専門的な知識だけでなく，ベッドサイドに行けて，しっかり話を聞けるマナーを持つ学生が多くいたらよいと思う。 ・指導教員の方ともう少し情報交換や，実習の進め方などの話し合いを行いたい。現場スタッフに求める実習調整の役割などについて学びたい。 ・文章能力は基本的にはできていると感じる。プレゼンテーション能力も基本以上にあると思う。 ・他校に比べ素直で看護観がしっかりしている印象である。先生の指導がよく，学生に寄り添っていると感じる。
医療介護福祉科：	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢医療を担う現場の解る経営者，経営側に成り得る社会人を育ててほしい。多職種も多く輩出される貴校に期待したい。 ・法人が岡山に本部を置いている。岡山県出身の学生さんならば東京という遠い事業所ではあるが，就業しやすいと考えている。 ・出産後も常勤で頑張ってくれている。特養で働き続けられるようなサポートを施設として行っていきたいと考えている ・介護福祉士として自己成長できるような施設づくりを採用側も体制を整えたい。 ・福祉・介護業界は大変厳しい状況である。学生がどういうところに魅力を感じているのかを知りたい。

B. 就職先からの意見聴取（令和元年度）

入職1年未満の卒業生の就職先に対して、卒業生の動向や課題の共有を行い卒業サポートの模索と共に在学教育に活かすために意見聴取を行っている。

【看護科】

川崎学園内2病院については、臨床指導者会議（年4回）の開催時に看護観や倫理観の育成、知識・技術の習得状況について意見交換している。近年では職場への適応に躓く学生もいることから、学科主任や担当教員が、看護部長や教育担当者との情報交換を行う機会を設けている。

川崎学園以外の施設では、入職半年後位に電話訪問を58施設行い、看護部長や人事担当者から卒業生の動向を聴取し、適応状況や成長状況を共有している。また、卒業生が採用されている病院からの求人時にも近況を教えてもらい成長状況を確認している。

【医療介護福祉科】

川崎学園内病院に就職した学生に対して、医療介護福祉士事例検討会に学科主任をはじめ教員が参加して病院で働く介護福祉士の悩み、看護師から見た介護福祉士の課題などの意見交換を行っている。

また、平成30年度卒業生の就職先2施設に行った意見聴取では、専門性を高める意識が高いとの意見をいただいた。